

まとめと課題<23年度>

- (1) 授業を通じた取り組みについては、高等部の生徒を中心に、防災を身近な問題として取り組む機運が高まり、中学部の生活単元学習や全校集会での取り組みも始まった。来年度以降への継続が課題である。
- (2) 東金市、社会福祉協議会、北之幸谷区とのネットワークができ、地域と共に取り組む防災教育の足場はできつつあるが、学区の二市四町への働きかけを、九十九里版津波避難の手引作成に着手している県の出先機関である山武地域振興事務所や、要援護者支援について取り組んでいる山武圏域地域自立支援協議会につなぎ、ネットワークを広げていくことが課題となる。
- (3) 本校は東金市の避難所に指定されているが、具体的な避難所開設の手続きや必要な物資等の確保については未定の状態にある。今後、県教育委員会の指導をふまえて、東金市との協議を進めていきたい。

児童生徒会のテーマ<～つなげよう～>から思うこと

【防災ユニバーサルねっと】 <何をつなぐのか><どういう視点でつなぐのか>

○過去～今～未来への（文化）

時間をつなぐ

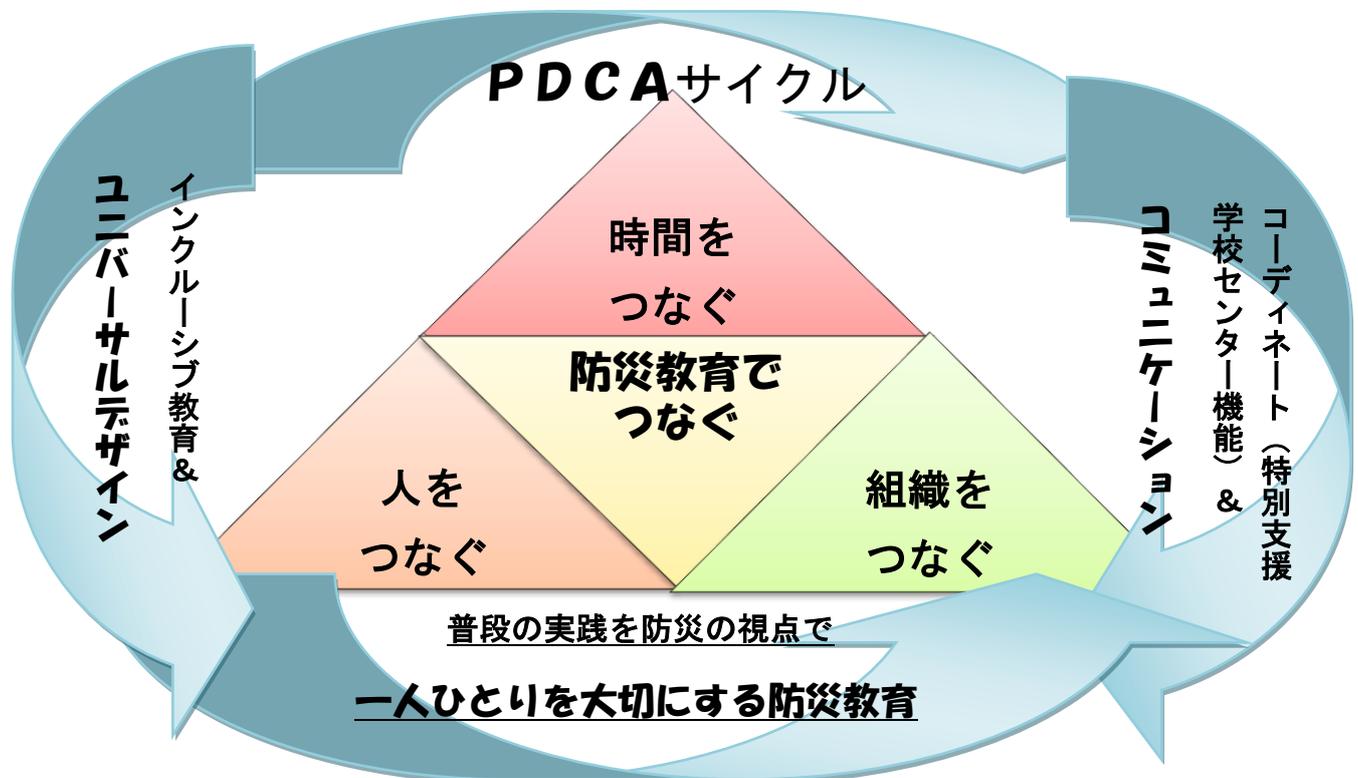
○自分～家族～親戚や友だちや地域（ユニバーサルに）～チャレンジプランの仲間～

人をつなぐ

○学校～市役所～社会福祉協議会や地域自立支援協議会～県（地域）～

組織をつなぐ

○授業や行事を防災教育でつなぐ（普段実践していることを防災という視点で見直す）



☆ 1. 17防災未来賞 ほうせい甲子園 平成23年度 「だいじょうぶ賞」

☆ 2011年度 防災教育チャレンジプラン 「防災教育特別賞」

まとめと課題<24年度>

「できたこと」「できていないこと」 アセスメントをし直して明確にする

【地質・地形】海まで8km・海拔8m

沼地の埋め立て地であり過去液状化

【地域】所在地の北之幸谷区 そして学区の二市四町

【建物・敷地】耐震化・老朽化 寄宿舎 給食（米の備蓄） 固定していない遊具

【児童・生徒】知的障害を中心に自閉症、肢体不自由、聴覚障害など、他の障害を併せ持つ多様な児童生徒

【家庭】災害時情報カードの活用（休日や長期休業）メール配信サービスの加入率

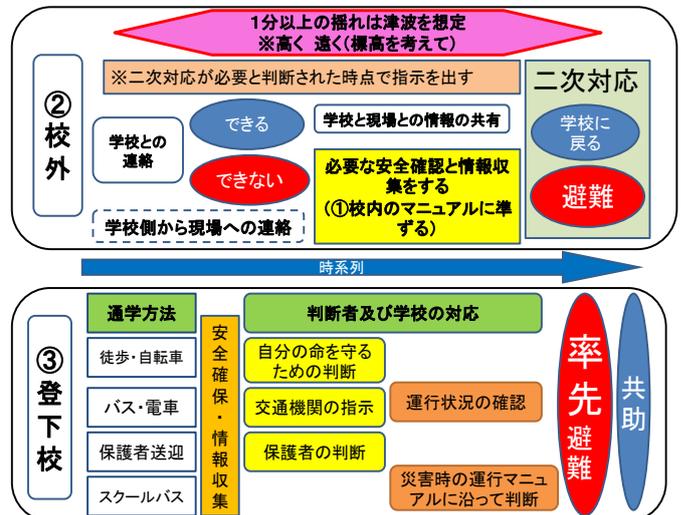
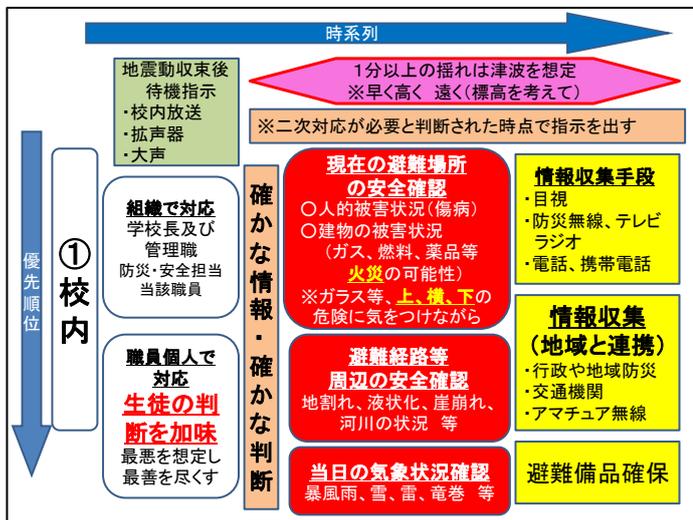
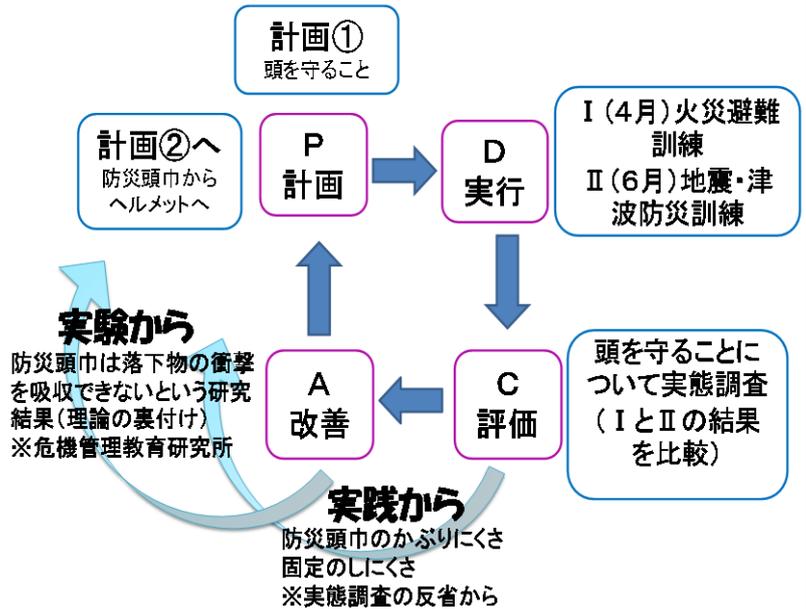
【教職員】非常勤職員数（4月当初に安全確認研修へ）寄宿舎の夜間体制（近隣居住職員の協力確認）

【県・市の施策】ネットワーク会議 防災セルフチェックの具体的な活用方法（PDCA）

【通学・校外】スクールバス 自主通学 校外学習計画案に災害対応も

【通信・連絡手段・マニュアル】見直しの時期と分掌の位置付け トランシーバーの充実

【備蓄】飲料・食料、電源、医療、寒さ対策 ・地域の避難場所としての備え（一次避難場所）
・卒業生や災害時要援護者の支援を含めた三次開設避難収容所としての備え（福祉避難所）



◎見直すにあたっては

- 優先順位 ○組織体制（だれが）
- 見直す時期・具現化できるまでの時間の目安の設定（いつ・いつまでに）

◎今後は、命と健康を守る防災教育に向けて、関係機関をヨコ糸でつなぐ「防災ユニバーサルねっと」の継続・発展と、日々の授業や行事をユニバーサルな視点で見直し、安全・安心で「わかる」「できる」「どの子も居場所がある」学校生活のユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくり・実践を重ねていく。

☆ 1. 17防災未来賞 ほうせい甲子園 平成24年度 高校生部門「奨励賞」